

視点を認識していなければ、差別的傾向は強化され、既存の男女間の不公正さは増大し、女兒の自尊心を徐々に傷つけてしまう。」とある。ジェンダーの視点で教育の場を見直す必要を痛感した私は、府高同研、高槻ジェンダー研究ネットワークで、教科書のジェンダーチェックに取り組んだ。

日本の教科書は、編集者、執筆者はほとんど男性。挿し絵に描かれた家族や女性も、一時代前のステレオタイプの家族像、女性像が多い。02年度の教科書には、少しは改善の流れが見えたが、バックラッシュの嵐の中で、06年度にはそれも後退した。

ジェンダーのありようは、時の政権の政策によって変えられる。私たちが不断に声を上げていかなければ、ジェンダー平等は実現しない。今後とも、高槻ジェンダー研究ネットワークの活動を大事にしたいと思っている。

法人設立10周年記念 お祝いコメント★



SEAN 10周年おめでとう！
この10年あゆみを大切に、
支えてくださったみなさんに感謝!!
(なんぷひろこ)

10周年おめでとうございます！
暴力のない社会めざして、
これからも一步一步進んでいきましょう。
(小林 明子)

おめでとうございます！
ひとつひとつの積み重ね。継続は力なりです。
ますますのご活躍をお祈りします。
(多田 明世)

10周年おめでとうございます！
SEANに来てたくさんの素敵な出
会いと経験ができました。ありがとう！
(南部 恭子)

10周年おめでとう！
バックラッシュにもめげずに10年「継続」し
ていることがすごいですね。ジェンダー平等
社会めざして力を合わせGOGO！
(“はっち”こと 立花初美)

